

Dynamics 365

この簡易ガイドは、すべてのマイクロソフト ライセンス プログラムに適用されます。

目次

概要	2
詳細	2
Base ライセンスと Attach ライセンス	2
従来のプランおよび製品への影響	3
Team Members ライセンス	3
Dynamics 365 Commerce Scale Unit	4
Scale Unit – Self-Hosted オプション	4
Dynamics 365 Marketing	4
ライセンス シナリオ	5
シナリオ 1	5
誤って正しくないライセンスを購入してしまった場合 (Base と Attach)	5
解決方法	5
シナリオ 2	5
複数のアプリケーションを必要とするユーザーに適切にライセンスを付与したい	5
よく寄せられる質問	6
全般	6
Base と Attach	7
Team Members	8

概要

この Dynamics 365 ライセンス簡易ガイドでは、よく寄せられる質問への回答と、複雑なシナリオの構築に必要な情報を提供します。また、他のドキュメントには記載されていない可能性のある製品情報についてもお伝えします。関連情報の提供には全力を尽くしていますが、このドキュメントに記載された情報は発行時点の最新情報であり、お客様が求めるすべての情報が記載されているとは限りません。

Dynamics 365 に関する主な情報は、[Microsoft Dynamics 365 ドキュメント | Microsoft Docs](#)、[Dynamics 365 ライセンスガイド](#)、[コマーシャル ライセンス条項 \(microsoft.com\) \(英語\)](#) に記載されています。

この簡易ガイドは、お客様の状況に最適な Microsoft Dynamics の製品やサービスの意思決定に影響を与えることを意図したものではありません。

詳細

Base ライセンスと Attach ライセンス

Dynamics 365 の 1 人のユーザーが複数の製品のライセンスをコスト効率のよい方法で利用できるように、Dynamics 365 では、Base と Attach のライセンス構造を採用しています。主要なビジネス機能を提供する製品のライセンスは、Base (基本) ライセンスの対象となります。ユーザーが 2 つ以上のアプリケーションを必要とするシナリオでは、Attach ライセンス (別名「対象になる 2 つめ以後のアプリケーション」) と呼ばれる追加ライセンスとして割り当てられることもあります。

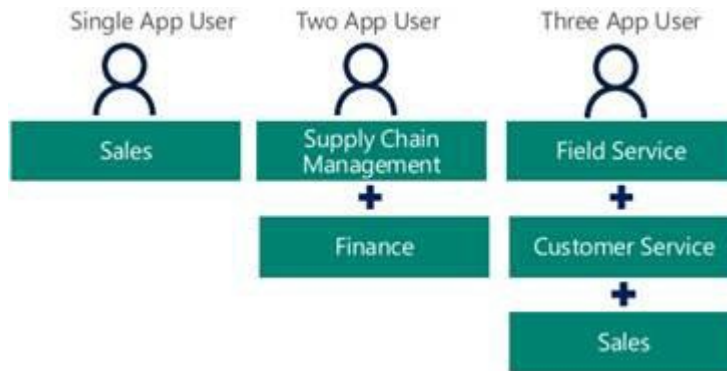
注: Base ライセンスと Attach ライセンスのコア機能は同じであり、違いは提供価格のみです。

複数のアプリケーションを必要とするユーザーにライセンスを適切に付与し、Attach ライセンスの特別価格のメリットも得られるようにするには、以下の手順に従います。

- 1) 1 つ目のアプリケーション ライセンスとして、Base ユーザー ライセンスを標準価格で購入する
 - Base ユーザー ライセンスは、常に他のライセンスよりも価格が高くなります。
- 2) その Base ライセンスで利用できる Attach ライセンスを確認する (各 Base ライセンスに対して利用可能な対象製品については、[Dynamics 365 ライセンスガイド](#)を確認してください)
- 3) 同じユーザーに対して Attach ライセンスを Attach ライセンス価格で購入する
 - 購入した Base ライセンスで利用可能な Attach ライセンスを、必要な数だけ購入できます。

Base ライセンスはすべてのフル ユーザーが所有している必要がありますが、その Base ライセンスが同じ製品のものである必要はありません (たとえば、Customer Service Professional の Attach ライセンスは、Finance の Base ライセンス ユーザーと Commerce の Base ライセンス ユーザーの両方が利用できます)。

以下は、複数のユーザーに異なるアプリケーションのライセンスを付与する場合の例です。



Attach ライセンスとして購入できるのは、割り当てられたユーザー ライセンスのみです。テナント ベースのライセンス (Fraud Protection など)、追加のアクセス ライセンス、キャパシティ ライセンスには、Attach ライセンスの価格は適用されません。しかし、テナント ベースのライセンス、追加のアクセス ライセンス、キャパシティ ライセンスは、個別に取得して適切に割り当てることができます。ライセンスの種類に関する詳細については、[Dynamics 365 ライセンス ガイド](#)を確認してください。

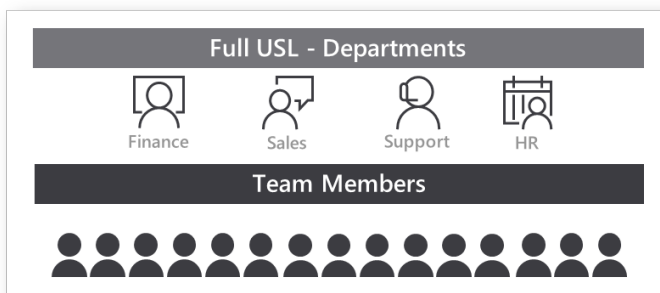
従来のプランおよび製品への影響

従来の Dynamics 365 プランである Dynamics 365 Customer Engagement プランや Dynamics 365 Unified Operations プランのライセンスを所有するお客様に対して、マイクロソフトは、Base および Attach ライセンスに移行するためのメカニズムを各種用意しています。主要なワークロード アプリケーションの移行オプションや購入オプションについては、マイクロソフト担当者にご相談のうえ、お客様の個別のユーザーのニーズに最も適したものをお選びください。

Team Members ライセンス

Dynamics 365 Team Members ライセンスは、ユーザー指定のサブスクリプションであり、そのユーザーの職務が必ずしも特定の部署に関連している必要はなく、基幹業務システムの基本的な機能の使用を必要とするユーザーを対象としています。Team Members のエクスペリエンスに組み込まれた指定のシナリオにアクセスできる、使用頻度の低いユーザー向けのライセンスです。Team Members ライセンスでは、以下のシナリオなどで利用するデータや基本レベルの機能にアクセスできます。

- 従業員のセルフ サービス - サポート チケットの作成、個人情報の更新、時間/経費の入力
- ビジネス インサイト - Dynamics のデータから得たビジネス インサイトのレポートやダッシュボードの構築
- 一般業務 - 連絡先/アクティビティ/メモの管理、アンケートへの回答
- 簡単なカスタマイズ - フル ユーザーのシナリオに含まれない業務をサポートするカスタム エンティティの作成



Dynamics 365 Commerce Scale Unit

Commerce 向けの既定のスケール ユニットは、eコマース取引の利用資格数や POS デバイスのライセンス数に適したサイズになります。追加のスケール ユニットは、購入したサービス レベルに従ってサイズが調整されます。

Scale Unit – Self-Hosted オプション

Dynamics 365 Commerce のライセンスを持つお客様は、セルフホスト型のスケール ユニットを使用して、小売業務用サーバー、クラウド POS Web サイト、チャネル データベースを店舗でローカルに展開することもできます。このタイプのスケール ユニットは、小売業務用の Commerce 展開環境との接続を維持しながら拡張できるため、パフォーマンスの向上、ビジネス継続性の確保、店舗内ハイブリッド機能の構築を実現できます。

セルフホスト型の Commerce Scale Unit とその使用权は、Commerce ライセンスの最小購入要件を満たせば、追加費用なしで提供されます (スタンドアロン ライセンスとしては提供されません)。セルフホスト型スケール ユニットにアクセスするすべてのサーバー、ユーザー、デバイスには、適切なライセンスが必要です。また、Windows Client、Windows Server、SQL Server に必要なハードウェアとライセンスも別途購入する必要があります。

さらに、Commerce Scale Unit-Cloud Premium/Standard/Basic でカバーされるデバイスからも、セルフホスト型スケール ユニットにアクセスできます。

注: デュアル ユースの権利を行使し、ダウングレード権を利用して Dynamics AX 2012 にダウングレードした場合、小売店のサーバーの使用権は含まれないため、適切なライセンスを取得する必要があります。適切なライセンスを判断するには、[AX 2012 Retail ライセンスガイド \(英語\)](#)、および、[Dynamics 365 for Operations \(オンプレミス\) ライセンスガイド \(英語\)](#) の AX のダウングレード対応表を確認してください。

Dynamics 365 Marketing

Dynamics 365 Marketing はテナント ベースのライセンスであるため、個々のユーザーに割り当てることはできません。また、テナント ベースのライセンスであることから、1 つの Dynamics 365 環境で 1 つの Marketing ライセンスしかインストール、使用、構成を行うことはできません。個人のユーザーがこのアプリケーションにアクセスして機能を使用する場合は、お客様のライセンス管理者が Microsoft 365 管理センターにアクセスし、無料の Dynamics 365 Marketing ユーザー SKU をその個人のユーザーに割り当てる必要があります。

注: アプリケーションを使用するには、テナント ベースの Dynamics 365 Marketing ライセンスと無料のユーザー SKU の両方を適切に割り当てる必要があります。

このプロセスの詳細については、「[ユーザー アカウント、ユーザー ライセンス、セキュリティ ロールを管理する \(Dynamics 365 Marketing\) | Microsoft Docs](#)」を参照してください。

ライセンス シナリオ

シナリオ 1:

誤って正しくないライセンスを購入してしまった場合 (Base と Attach)

この問題の対処方法は、購入経路によって異なります。ここでは具体的な例を挙げて説明していきます。

Customer Service Enterprise の *Base* ライセンスが必要なのに、*Attach* ライセンスを購入してしまったお客様について考えてみましょう。このシナリオは、上記で説明してきた *Base* ライセンスと *Attach* ライセンスの購入ルールと [Dynamics 365 ライセンスガイド](#)を確認すれば対応できます。また、[コマーシャル ライセンス条項 \(microsoft.com\) \(英語\)](#) も確認してください。

解決方法

- 1) [Enterprise Agreement \(EA\)](#) の場合、Customer Service Enterprise の *Attach* ライセンスから *Base* ライセンスにステップアップできる SKU が価格表に記載されています。マイクロソフトのアカウント担当者にお問い合わせ、この SKU の購入を行い、正しいライセンスを取得します。
- 2) [クラウド ソリューション プロバイダー \(CSP\)](#) プログラムの場合、CSP 内にステップアップ ライセンスはありません。Sales Enterprise の *Attach* ライセンスのサブスクリプションをキャンセルし、*Base* ライセンスを購入します。

シナリオ 2:

複数のアプリケーションを必要とするユーザーに適切にライセンスを付与したい

シナリオ: 複数のアプリケーションのライセンス付与について理解する

顧客プロフィール

Contoso Coffee Makers は、従業員 75 名に対して、Dynamics 365 Customer Engagement プランのライセンスを付与しています。従業員の内訳は以下のとおりです。

- 販売担当者: 50 名
- カスタマー サポート/販売担当者: 15 名
- フィールド サポート担当者: 10 名

顧客からの質問

Contoso Coffee Maker は、2019 年 10 月の変更後の新しいライセンス プロファイルについて知りたいと思っています。ユーザーにはどのようにライセンスを付与すればよいでしょうか。

ユーザー (2019 年 10 月 1 日前)	ライセンス	SKU 価格	ライセンス数	月額合計
<ul style="list-style-type: none"> 販売担当者: 50 名 カスタマー サポート/販売担当者: 15 名 フィールド サポート担当者: 10 名 	Customer Engagement プラン	\$115	75	\$8,625

ユーザー (2019 年 10 月の更新後)	Base ライセンス	SKU 価格	ライセンス数	月額	Attach ライセンス	SKU 価格	ライセンス数	月額	月額合計
販売担当者: 50 名	Sales Enterprise	\$95	50	\$4,750	該当なし				\$4,750
カスタマー サポート/販売担当者: 15 名	Sales Enterprise	\$95	15	\$1,425	Customer Service Enterprise Attach	\$20	15	\$300	\$1,725
フィールド サポート担当者: 10 名	Field Enterprise	\$95	10	\$950	該当なし				\$950
								合計	\$7,425

よく寄せられる質問

全般

Q1: 現在従業員は、サードパーティ製 CRM システムを使用してデータ入力を行っています。入力したデータは、その後、統合ソリューションを使用して D365 に移行しています。D365 ではなくサードパーティ製 CRM システムでデータを入力しているのですが、それでも D365 ユーザー SL は必要ですか。このユーザーに必要なライセンスを教えてください。

A: この場合、サードパーティ製 CRM システムが D365 にアクセスすることになるため、多数のユーザーが 1 つの接続ポイントからアプリケーションにアクセスする「接続プーリング」と見なされます。詳細については、[マルチプレキシングに関するライセンス簡易ガイド \(英語\)](#) を確認してください。

ユーザーに必要なライセンスは、個々のユーザーのニーズによって異なります。

Q2: 使用権が Dynamics 365 にシードされている機能について教えてください。

A: これはアプリケーション ワークロードによって異なります。最新情報は [Dynamics 365 ライセンス ガイド](#) で確認してください。

Q3: Customer Engagement アプリケーションでの Team Members の使用権に関する詳細情報は、どこで確認できますか。特に、エンティティを最大 15 個追加できるという点について教えてください。たとえば、無制限に使用できるエンティティや、「追加エンティティ」としてカウントされるエンティティはどれなのでしょう。

A: 詳細については、[Dynamics 365 ライセンス ガイド](#)の付録 A を確認してください。

Q4: Customer Engagement のフル ユーザー ライセンスには Activity と Team Members のライセンスも含まれますか。

A: Activity は、Finance と Operations にのみ含まれます。Team Members は、Customer Engagement に含まれません。最新情報は [Dynamics 365 ライセンス ガイド](#)で確認してください。

Q5: Finance および Operations の運用インスタンスを追加購入できますか。また、非運用インスタンスについてはどうですか。

A: Finance、Supply Chain Management、Commerce では、運用インスタンスを追加購入することはできません。必要な場合は、必ず [Microsoft FastTrack](#) に問い合わせるか、業務上の正当な理由でサポート チケットを発行したうえで、各運用インスタンスに必要な最小限の数のライセンスを購入してください。要件の詳細や追加情報については、[こちらのドキュメント ページ](#)を確認してください。

Finance と Operations では、非運用インスタンスを購入できます。最新情報は [Dynamics 365 ライセンス ガイド](#)で確認してください。

Q6: Sales Professional の使用権は、システム レポート、グラフ、ダッシュボードの作成と更新で最大 5 となっています。この最大 5 というのはどのような意味ですか。

使用権	Team Members	Sales	
		Pro	Ent
システム レポート、グラフ、ダッシュボード: 作成と更新		最大 5	●
システム レポート、グラフ、ダッシュボード: カスタマイズ			●
Word: テンプレートの作成/更新/削除	●	●	●
ワークフロー: 定義と構成		●	●

A: これは、5 つのシステム レポート、5 つのグラフ、5 つのダッシュボードの作成および更新の使用権、という意味です。

Base と Attach

Q1: すべてのアプリケーション ライセンスで、Base と Attach を混在させたり組み合わせたりすることはできますか。

A: 原則として、Base ライセンスは Attach ライセンスよりも価格が高く設定されています。一部のワークロードのライセンスは、技術的またはシナリオの互換性の問題により、Attach ライセンスが提供されません。利用可能なすべての組み合わせについては、[Dynamics 365 ライセンス ガイド](#)を確認してください。

Q2: Customer Engagement プランを利用するお客様が、新たに Sales Enterprise、Customer Service Professional、Field Service を個別のユーザーに割り当てたい場合、この 3 種類のアプリケーションのライセンスを別々に取得する必要がありますか。

A: はい。この場合は、3 種類のアプリケーションを個別に購入する必要があります。たとえば、Sales Enterprise または Field Service の対象 Base ライセンスを取得し、残り 2 つのアプリケーションを Attach ライセンスとして割り当てます。

ライセンス	機能
Base アプリケーション	Sales Enterprise
Attach ライセンス #1	Customer Service Professional
Attach ライセンス #2	Field Service

Q3: Attach ライセンスの価格で購入できるライセンス数はいくつですか。

A: 1 ユーザーに対して購入できるビジネス アプリケーション ライセンスの数の制限はありません。

Q4: Device、Activity、Team Members の各ライセンスに Attach ライセンスの価格は適用されますか。

A: Base/Attach ライセンスの適用対象は、主要ワークロードのユーザー サブスクリプションのみです (Marketing Attach を除く)。

Q5: Base ライセンスと Attach ライセンスでは、使用権に違いはありますか。

A: いいえ。Base ライセンスと Attach ライセンスの利用資格と使用権は同じです。

Q6: 従来の Dynamics 365 Customer Engagement プランのライセンスを所有している場合、どうすればよいですか。

A: 従来の Dynamics 365 プランである Dynamics 365 Customer Engagement プランや Dynamics 365 Unified Operations プランのライセンスを所有するお客様に対して、マイクロソフトは、Base および Attach ライセンスに移行するためのメカニズムを用意しています。主要なワークロード アプリケーションの移行オプションや購入オプションについては、マイクロソフト担当者にご相談のうえ、お客様の個別のユーザーのニーズに最も適したものをお選びください。

Team Members

Q1: Team Members ユーザーが使用できるカスタマイズ アクセスについて教えてください。

A: Team Members ライセンスでは、Team Members シナリオで最大 15 のエンティティを作成またはカスタマイズできます。たとえば、Sales アプリケーション用に Team Members をカスタマイズする場合、Sales シナリオ向けに Basic を拡張できます。さらにカスタマイズが必要な場合は、フル アプリケーション ライセンスをお勧めします。

Q2: 2018 年の変更前に Team Members のライセンスを取得した場合は、どうすればよいですか。

A: Team Members を更新する場合、現行の Team Members の利用資格で既存の機能を使用できるかどうかを検証する必要があります。たとえば、カスタマイズが Team Members の制限範囲を超える場合、カスタマイズ内容を見直す、フル アプリケーション (Dynamics Sales など) に移行する、Power Apps ライセンスに変更するなどのオプションを検討する必要があります。

Q3: CRM と ERP の Team Members ライセンスに違いはありますか。

A: いいえ。Dynamics 365 Team Members ライセンスでは、すべての Dynamics 365 アプリケーションにアクセスできます。

Q4: Power Apps アプリケーションに関連付けられている社内製のカスタム アプリやスタンドアロン アプリがあります。この場合、Team Members ライセンスを所有するユーザーは、このアプリにアクセス/使用することはできますか。

A: いいえ。Dynamics 365 Team Members では、カスタム アプリケーションにはアクセスできません。これらのユーザーは、適切な Power Apps ライセンスも購入する必要があります。

© 2021 Microsoft Corporation. All rights reserved.このドキュメントに記載された内容は情報の提供のみを目的としています。明示または黙示にかかわらず、この内容に関してマイクロソフトはいかなる責任も負わないものとします。この情報はライセンスを受けた製品を正しくご使用いただくためのガイドであり、お客様との契約ではありません。ボリューム ライセンス契約に基づきライセンスを受けた製品の使用については、当該契約に定める契約条件に規定されます。この情報と契約の間に齟齬がある場合は、契約の条項が優先されます。マイクロソフトの代理店を通じて取得するライセンスの価格は、代理店によって決定されます。